臺灣日日新報
本日夕刊共六頁

ニユージョージア島
上陸の敵と戰鬪中
敵艦五隻を轟沈、撃沈破

【東京發至急報】大本營發表（七月七日十五時三十分）

一、ソロモン群島方面の敵は六月三十日レンドバ島方面の一部揚陸に引續き之に接するニユージョージア島の奪取を企圖しその數箇所に上陸し來り同島各地において目下戰鬪續行中なり

二、ニユージョージア島北西部クラ灣方面における今日迄の戰鬪狀況左の如し

（一）七月五日黎明同地帝國陸海軍守備隊並に同方面作戰中の帝國水雷戰隊は艦種不詳の敵艦三隻を撃沈せり

（二）同日晝間帝國海軍航空部隊はクラ灣上空において敵機群と交戰しその十機を撃墜せり

（三）同日夜半帝國水雷戰隊所屬驅逐艦數隻は巡洋艦、驅逐艦十數隻より成る優秀なる敵部隊に對し肉薄攻撃し巡洋艦一隻轟沈、同一隻を撃破炎上しこれを潰走せしめたり

【註】本海戰をクラ灣夜戰と呼稱す

米軍曖昧に損害認む

【ブエノスアイレス六日發同盟】ジア島とコロンバンガラ島の中間クラ灣で艦隊交戰した米國艦隊がニユージョージア島北方のクラ灣で目下海戰が行はれてゐる、艦隊の損害は未だ判明しない」と發表したが六日に至り海軍省スポークスマンは米艦が損害を受けたことを認め次の樣に語つた「クラ灣の海戰は終了したと思はれる、詳細な經過は未だ報告がないから發表出來ないが米艦は若干損害を蒙つた」スポークスマンの談話は右に依つて曖昧な態度をとつてゐるがこれに先立ちＲＢＣ……

けふ大詔奉戴日

詔書

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ皇祚ヲ踐メル大日本帝國天皇ハ昭ニ忠誠勇武ナル汝有衆ニ示ス

朕茲ニ米國及英國ニ對シテ戰ヲ宣ス朕カ陸海將兵ハ全力ヲ奮テ交戰ニ從事シ朕カ百僚有司ハ勵精職務ヲ奉行シ朕カ衆庶ハ各〻其ノ本分ヲ盡シ億兆一心國家ノ總力ヲ擧ケテ征戰ノ目的ヲ達成スルニ遺算ナカラムコトヲ期セヨ

抑〻東亞ノ安定ヲ確保シ以テ世界ノ平和ニ寄與スルハ丕顯ナル皇祖考丕承ナル皇考ノ作述セル遠猷ニシテ朕カ拳々措カサル所而シテ列國トノ交誼ヲ篤クシ萬邦共榮ノ樂ヲ偕ニスルハ之亦帝國カ常ニ國交ノ要義ト爲ス所ナリ今ヤ不幸ニシテ米英兩國ト釁端ヲ開クニ至ル洵ニ已ムヲ得サルモノアリ豈朕カ志ナラムヤ中華民國政府曩ニ帝國ノ眞意ヲ解セス濫ニ事ヲ構ヘテ東亞ノ平和ヲ攪亂シ遂ニ帝國ヲシテ干戈ヲ執ルニ至ラシメ茲ニ四年有餘ヲ經タリ幸ニ國民政府更新スルアリ帝國ハ之ト善隣ノ誼ヲ結ヒ相提攜スルニ至レルモ重慶ニ殘存スル政權ハ米英ノ庇蔭ヲ恃ミテ兄弟尚未タ牆ニ相鬩クヲ悛メス米英兩國ハ殘存政權ヲ支援シテ東亞ノ禍亂ヲ助長シ平和ノ美名ニ匿レテ東洋制覇ノ非望ヲ逞ウセムトス剩ヘ與國ヲ誘ヒ帝國ノ周邊ニ於テ武備ヲ增強シテ我ニ挑戰シ更ニ帝國ノ平和的通商ニ有ラユル妨害ヲ與ヘ遂ニ經濟斷交ヲ敢テシ帝國ノ生存ニ重大ナル脅威ヲ加フ朕ハ政府ヲシテ事態ヲ平和ノ裡ニ囘復セシメムトシ隱忍久シキニ彌リタルモ彼ハ毫モ交讓ノ精神ナク徒ニ時局ノ解決ヲ遷延セシメテ此ノ間却ツテ益〻經濟上軍事上ノ脅威ヲ增大シ以テ我ヲ屈從セシメムトス斯ノ如クニシテ推移セムカ東亞安定ニ關スル帝國積年ノ努力ハ悉ク水泡ニ歸シ帝國ノ存立亦正ニ危殆ニ瀕セリ事既ニ此ニ至ル帝國ハ今ヤ自存自衞ノ爲蹶然起ツテ一切ノ障礙ヲ破碎スルノ外ナキナリ

皇祖皇宗ノ神靈上ニ在リ朕ハ汝有衆ノ忠誠勇武ニ信倚シ祖宗ノ遺業ヲ恢弘シ速ニ禍根ヲ芟除シテ東亞永遠ノ平和ヲ確立シ以テ帝國ノ光榮ヲ保全セムコトヲ期ス

御名御璽

昭和十六年十二月八日

艦船等四四隻屠る
百廿八機以上血祭り
六日間の綜合戰果

【東京發】六月三十日以來七月五日までの敵米軍レンドバ、ニユージョージア兩島上陸作戰に際し我が帝國陸海軍航空部隊並びに艦艇による赫々たる戰果は左の通りである

一、レンドバ島方面

◇航空部隊に依るもの

六月三十日（海軍航空部隊）大型輸送艦一隻、驅逐艦一隻、輸送船三隻撃沈、驅逐艦一隻、輸送船三隻撃破、飛行機五十機以上撃墜

七月一日（海軍航空部隊）乙級巡洋艦一隻、大型驅逐艦二隻撃沈、乙級巡洋艦一隻撃破、飛行機二十七機以上撃墜

七月二日（陸海軍航空部隊）舟艇多數撃沈、輸送船一隻撃破、飛行機九機撃墜、陸上諸施設を爆破

七月三日（海軍航空部隊）飛行機九機撃墜

七月四日（陸海軍航空部隊）輸送船五隻、舟艇十數隻撃沈、飛行機二十三機以上撃墜、集積物資の爆破炎上

◇艦艇（驅逐艦）に依るもの

七月二日　魚雷艇一隻撃沈、同一隻撃破

二、ニユージョージア島方面

◇航空部隊に依るもの

七月五日（海軍航空部隊）飛行機十機撃墜、艦艇（水雷戰隊所屬驅逐艦に依るもの）巡洋艦一隻轟沈、同一隻撃破炎上、陸海軍守備隊並びに艦艇（水雷戰隊に依るもの）艦艇（艦種不詳）三隻撃沈

米海軍省發表

青木大臣參內

ダーウインを爆撃

【リスボン七日發同盟】メルボルン來電＝西南太平洋反樞軸軍司令部は日本軍航空部隊が六日正午頃再びポートダーウインを爆撃した旨七日發表した

敵艦三隻見事に撃沈
我海軍傳統の夜襲戰

激烈なる決戰の連續
熾烈の輸送補給破壞戰

宿敵へ憤怒の猛攻
我が水雷戰隊傳統の眞價

陳國府建設部長空路來朝

ボーズ氏全幅支持
ビルマ地方委員會聲明

地方長官招待
廿日翼政會懇談

蘭貢に來襲敵機を撃墜す

感狀上聞に達せらる
ドンベイク地區占領部隊

アラカンに偉勳

【東京發】アキヤブ要域を窺せる英印軍の反攻に對し敢然ドンベイク地區確保の重任に當りインド第十四師團を基幹とする優勢なる敵の數次に亙る猛烈な攻撃を撃破、遂に英印軍ビルマ奪回企圖の初動を挫しアラカンの戰線の基礎を作つたドンベイク地區占領部隊に對してはさきに飯田ビルマ方面軍最高指揮官から感狀が授與されたが今回畏くも上聞に達した旨七日陸軍省から發表された

陸軍省發表（七月七日十六時）

本年初頭印緬國境「ドンベイク」附近に於て月餘に亙り寡兵克く優勢なる敵軍の猛攻を撃摧して前進陣地を死守以て爾後の我が攻勢作戰を著しく有利ならしめ偉大なる功績を樹てたる「ドンベイク」地區占領部隊に對して曩に同方面陸軍最高指揮官より感狀を授與せられしが今般畏くも上聞に達せられたり

感狀

『ドンベイク』地區占領部隊

右は「アキヤブ」要域の守備を擔任せる宮脇部隊の指揮に屬し昭和十八年一月四日其の防衞の一環たる「ドンベイク」陣地の確保に當れり、當時「アキヤブ」の奪回を企圖せる優勢なる英印軍は「マユ」半島及「マユ」河東岸地區を南下し「ラテドン」「コンデヤン」「ドンベイク」正面に殺到し力攻之努め、其の兵力は印度第十四師團を基幹とするものにして十二月下旬より同陣地各所に於て猛烈なる攻撃を反復せり就中「ドンベイク」正面に對しては一月初旬以後執拗なる正面に……

昭和十八年三月十八日

緬甸方面陸軍最高指揮官　飯田祥二郎

アキヤブ奪回を完封
敵はアラカンの悲劇に終る

伊藤集成部隊の作戰經過

【東京發】アキヤブ附近は昨年ビルマ平定に伴ひ當初僅少の兵を以つて占領してゐたが敵の新作戰企圖に鑑み昨年〇月以降宮脇部隊の主力を基幹としてアキヤブ及び其の前面要域を守備してゐた、しかるに敵は十一月初頭からチツタゴン方面に其の兵力を増加しアキヤブ要域を奪取、インド第十四師團を基幹とする有力なる兵力を以……

ドンベイク附近の戰鬪

一月十八、九兩日の戰鬪

敵の第三次攻撃の戰鬪概要

けふの官報

疲労の防止と恢復に
除倦覚醒剤
ヒロポン錠
製法特許
本劑は未だ曾つて知られざる特異なる中樞性興奮作用を有し、倦怠除去、睡氣一掃に驚くべき偉効を奏し、學界、產業界等あらゆる方面に異常なる注目と愛用を喚起しつゝある最新劑である。
適應症
一、過度の肉体及び精神活動時
二、徹宵、夜間作業、その他睡氣除去を要する時
三、疲勞、宿醉、乘物酔
四、各種憂鬱症
包裝
（一錠中〇・〇〇一瓦含有）
二〇錠　五〇錠　一〇〇錠　五〇〇錠
（散剤、注射液もあり）
大日本製藥株式會社

速かに消炎・解熱・鎭痛します
神經痛
筋痛・腰痛
捻挫・打撲
ロイマチス
三十分しつぷ薬
デルモライツ
株式會社 吉友洋商店

▲たむし ▲ほたけ ▲水むし ▲かゆがり ▲ひぜん ▲いんきん ▲くさ ▲吹出物
皮下に吸收し易く、潜伏菌を殲滅するアスターが理想的！
シマズ、痛まず痒みは止る！
皮膚病藥
皮膚病に
アスター
丹平商會

救急に　神経が興奮し、ひきつけ氣絶時や急病時の救急手當に
治病に　消化不良、下痢便秘等胃腸障碍時や發熱性の小兒病に
保健に　生れつきの虚弱兒や病後の回復促進にも。
至純至高の貴重動植物精髓を主藥とせる良藥の作用は、極めて緻密且つ溫和で優秀なり。
小兒良藥
樋屋奇應丸
本舗 大阪天滿 樋屋合資會社

社説

重慶の精神的孤立愈よ深刻

重慶の孤立が、最近際だつて目立つやうになつた。物質的にはいふまでもない。その異常な背後に、ソ聯邦及び印度を通じ、英米の援助につながりながらも、いまやその方面からの物資補給は杜絶の形となつてゐる。

だが、香港は、かかる物質的なるそれよりも、いつそ深刻なる意味において、精神的なるそれを示唆する。

ビルマが獨立する。フィリッピンも獨立する。

タイ國は、既に馬來印度支那の失地を回復し、いま又英領緬甸中の四州及びシャン州の一部を編入するに至つた。チャンドラ・ボース氏の來朝によつて、印度の獨立運動も、いよいよ積極的段階に入り、近く臨時政府の成立をみんとしてゐる。

[illegible]

又、支那における[illegible]

[illegible]

いまこそ、米英撃つべきの秋である。アジアの解放のときだと呼んでゐるではないか。

しかも彼は依然として米英の走狗たるに甘んじてゐるかの如くである。この聲が聽えぬ　のであらうか。

いまぞ、祖國の覺醒すべき秋だと重慶を叩く十億アジア民族の聲が聽えぬのであらうか。否々、斷じて否である。

聽えぬのではない。[illegible]

[illegible]

卽ち、重慶はいまや彼の呼號する[illegible]自身を縛ります[illegible]らう。

[illegible]

シコルスキーの怪死

波蘭亡命政府首相シコルスキーが遂に英國の魔手に斃れた。[illegible]

[illegible]

企業整備の意義
「能率の最高度發揚」
岸商相 大阪で講演

【大阪電話】岸商相は七日午前大阪能率研究會主催大阪府經濟協議會での講演において「企業整備と能率増進」と題し[illegible]

[illegible]

卽ち[illegible]

石炭 [illegible]

綠肥根瘤菌接種試驗
大成果―水稻收量增大

[illegible]

△新竹州

一、無接種區		一二、〇五
二、堆肥接種區		一三、六七
三、液體接種區	一〇、七八	
四、液體接種堆肥區	一六、二三	

△臺中州

[illegible]

△臺南州

[illegible]

△高雄州

[illegible]

重點主義、效率主義
督府明年度豫算編成方針

[illegible]

一、[illegible]

新竹州の一期作籾 買入格付標準決定

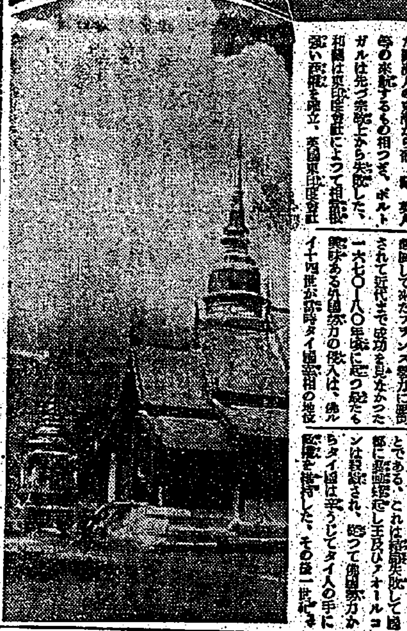
【新竹電話】新竹州では本年一期作籾[illegible]

今秋頃本格的着工
大甲溪開發 資材入手は大成功

[illegible]

本島の製鹽飛躍的增産
マグネシウムは大量增産目標

[illegible]



領土恢復の第一步

【バンコック發若林特派員發】起上つた白象の國タイは遂に多年の宿望を達した、卽ち一九〇九年老猾英國のために略取された馬來半島の領土ケダー州、クランタン州、トレンガヌ州、ペルリス四州はタイ領に還ることとなり、又タイ民族ゆかりの地シャン聯邦二州は共同作戰下既にタイ國軍による軍政を施行されてゐるが、これまたタイ領土たる確約を與へられたのである、タイ國民の歡喜や如何ばかりであらうか、ビルマは兎に角としても西と南に繋る英佛から蠶の桑を蝕むがごとくに占領されて行つた領土は今や殆んど完全にその昔の大領土に還つたのだ、ここに歐洲勢力東漸以來滲透し來つたその勢力と國土喪失の跡を一瞥し現地を素描しよう

英佛勢力の侵入

あたかもナラーイ王朝（一六五〇年―一六七七年）の頃はじめて歐洲人の來航から葡、蘭、英人等の來航するもの相つぎ、ポルトガルは先づ宗教上から失敗した、和蘭は英印度會社によつて相當強い政權を確立、英國東印度會社[illegible]

[illegible]

最大の國難至る

[illegible]

佛遂に野望達成

[illegible]

敵・米の正體を衝く

容易に一致せぬ
造船計畫と實績

太平洋及び大西洋、地中海における船舶の喪失並びに商業の交易によつて、米英の船腹は[illegible]

[illegible]

老朽船の氾濫

今次大戰勃發前におけるアメリカの保有船腹は[illegible]

[illegible]

造船計畫の變遷

[illegible]

造船計畫 [illegible]
トン數 九十五隻 八十三萬五千重量トン
造船費 一億五千六百四十四萬ドル

[illegible]

今後の造船計畫

[illegible]

造船數字の噓

[illegible]

「食糧行政諸問題」
中平食糧局長歸任談

[illegible]

農業團體 [illegible]

食糧行政 [illegible]

食糧公社 [illegible]

本島の木造船態勢
造船資材の確保へ
資材會社への暫定措置

[illegible]

高雄、合同造船會社
九月末實現へ、準備進捗

[illegible]

南日本汽船增資 一千萬圓
機帆船建造資金確保策

南日本汽船（資本金五百萬圓）で[illegible]

決戰

一日農夫の體驗

[illegible]

（宜蘭・戻山生）

生原稿の審査
推薦機關設置

[illegible]

名譽の家を助けて稻刈奉仕

[illegible]

中小商工業再編成の趣旨徹底
企業整備懇談會開く

[illegible]

市況（七日）

兜町後場況

[illegible]

東京長期前場

[illegible]

東京短期前場

[illegible]

東京長期後場

[illegible]

東京短期後場

[illegible]

東京銀行實株

[illegible]

大阪短期前場

[illegible]

大阪短期後場

[illegible]

けふは大詔奉戴日
老いも若きも「總襷」
海へ送れ立派な青年を

寡兵克く要衝死守
皇軍の眞髓發揮
武功誇らぬ伊藤部隊長

伊藤部隊戰鬪經過

猛烈

決意

砲擊

白兵

渡邊

陣地

照宮さま
多摩陵へ御參拜

陸軍少年兵は語る（一）
魂の鍛錬が第一
肝に銘じた校長の訓辭

各少年兵學校志願の動機

出席者

家庭から硬貨一掃
回收に物凄い意氣込み

學徒擧つて蹶起し
ゆけ決戰の大空へ
藤岡報道部長熱烈呼かく

興亞記念日
各地の行事

【北京】

【武漢】

皇軍將士に親しむカナカ族
ニューギニヤ戰線にて

一萬五千にいま一息
海軍へ・熱血青年の志願續く

完全

冷藏豚肉に御注意
南署當局から市民に警告

各區毎に蔬菜配給所
適正配給、買漁り防止期す

赤痢の死亡者
羅病者の一割

日本フオード會社
に罰金千五百萬圓

船員さん、家族に
感謝の慰安會

男性神經衰弱

無代進呈
かすが野莊

ますらを
鐘淵化學研究所

デルモライツ

話變を節し
建艦獻金

坪寸募實實施
一周年記念式

今日の映畫

大世界　臺灣劇場　新世界　芳乃館　芳明館　城南映畫劇場　萬華劇場　第三世界　太平館　臺陽・國際地區　中央劇場　基隆世界館　旭座　大和劇場　羅東座　宜蘭座　昇平座

台北四興合同宣傳社

新竹春競馬
十一日（土）
十一日（日）
十六日（金）
十七日（土）
十八日（日）

昨年七月十一日暴風雨ノ爲殉難致候弊社蘇澳工場從業員三十四名ノ一周忌法會ヲ來ル七月十一日正午ヨリ同工場構内ニ於テ相營可申此段御通知ニ代ヘ謹告候也
臺灣化成工業株式會社

石瓦
蘇澳港、吉本商行

株金拂込及失權ニ關スル通知事項公告
新竹資源株式會社
右代表者取締役社長
林炳榮

御挨拶
小野原支店
店主　小野原孫一
轉居先　臺北州七星郡士林街草山壹壹番地（電話草山甲壹四番）

各位

近刊
隨筆地質學
臺灣の少女
胡人の匂ひ
中華民族南方開拓史
東都書籍株式會社

四男林輝旭不幸...
林豐益商店
父 林光景　兄 林輝揚　林輝塭　林輝培　弟 林輝勝

荊妻連彭氏チン儀...
夫 連傳樹　男 連傳枝　連水盛　連水元　孫 連友中　親戚

陸軍大尉士岐忠彥儀...
父 士岐適　母 士岐志う子　兄 士岐維孝　光岡徹　士井五男

行かう海軍志願兵

六日目早六萬に肉薄

高雄州、筆頭は東港郡

北港郡も殆んど全員志願

兄弟四人揃つて……

羅東郡一人殘らず志願

臺中州六萬突破

私を顧みず共同收穫に精勵

國語講習所講師の再教育

成績極めて良好

虱目魚マニラより輸入

嘉義市の事變記念日

實結ぶ四十年の忍苦

軍需資材として脚光浴ぶ

『キルク代用品あべまき』

神饌田播種祭

賞賜物件傳達式

話は

更に

職場は戰場に通ず

戰力增强安全週間

十日から全島一齊に展開

臺南州

彰化市

物資配給委員會に期待

嘉義市で家庭生活の無駄排除

新竹州「電髪」に斷

享樂街の自粛一層要望

けふ貯蓄功勞者を表彰

臺南市特別鍛錬所

第一回入所式擧行

若人の心身錬磨に萬全

銃後の明朗化期す

臺南で國民娛樂改善講習會

義勇隊員遺家族弔問

軍援宜蘭分會で遺族を慰問

日赤無料巡回診療

小賣店舖五十二店

彰化市食糧品商統合

剩餘金を建艦費に

共同收穫に更に生かす

海の文學美術街頭展

臺南市七月十六日から

米英擊滅の意氣でやれ

臺中市で蠅、油虫の驅除運動

家庭

空襲時に備へて

お米の損傷防止と貯藏

米の腐敗する原因

米の損傷される原因

米の損傷腐敗を除く方法

我が家の菜園

茄子の色は手入次第

ラヂオ

オ二放送

赤誠の獻金

軍司令部（記載）

國防獻金

恤兵金

大いなる祭 (177)

中野實作　三芳悌吉畫

大いなる祭（九）

柳屋ポマード

心も頭も明朗に!

(一)切つて戰ひ拔きませう

東京・日本橋　柳屋本舖

作業能率は明快な頭腦　溌剌の心身から――

時々仁丹を含んで惰氣、倦怠を去り常に新しい生氣を保ちつゝ頑張らう

朝夕の運動に必携!

仁丹

脚氣（かつけ）に　ツメマイ　リキシン

慢性脚氣・腫れ脚氣　急性脚氣・乳兒脚氣　姙産婦脚氣等に……

大阪市大正…　今津化學研究所

中野高等無線電信學校

東京寫眞學校

南方　守衛　時計　海口　女店員　見習　理髮　タイピスト　齒科　部長　南方　女子　小店員入用　給仕　雇入　募集　中年　女子　職員　女事務員　交換　產婆　看護婦　事務員　轉業

二カ　カヤ　ミシン　ミシン　刀劍　特許　冷藏庫　惣掛　玄米　京染　荷造　引越　荷造　梅肉　レコード　中古カメラ　レントゲン　犬猫入院　高級　賣電話　電話　洋裁　浴場　家主　監視　アザ　生徒

夕刊　臺灣日日新報　七月七日

あすは大詔奉戴日

戰爭生活、食糧の増産

翼賛會 七月常會徹底事項

大東亜宣言强力展開

東條首相訪泰の意義

赤軍の敗色濃厚

南部戰線 獨軍重壓を强化

獨軍の大攻勢

ソ聯情報局六日の發表

クレタ島上陸英軍 反撃を蒙り撤退

米英戰略の對立

歐洲上陸作戰繞る苦悶

噴火山上の歐洲戰局

世界戰略を繞る米英の對立

重慶を繞る對立

微妙な米英ソ三國關係

航空決戰の落着く所

ルーズベルト再び敗北

助成金條項、米上院否決

ソ機二千撃墜

芬軍綜合戰果

大藏省委員 初會合開く

文部省でも初會合

上昇の一途

反樞軸空軍の損害甚大

最後の勝利へ敢闘

ムッソリニ伊首相演説

ナポリ市の

統制を强化

講和は屈伏

勝利の平和

山東省保安隊 赫々の戰果

誤算・反樞軸の盲爆

絶對非妥協、伊國民敢闘

警備第十軍軍長 吳子恒中將

船舶撃沈四十八隻

伊海空軍四月間の戰果

英船印度洋で撃沈

日華一體新建設

吳、榮兩中將決意闡明

山東方面軍總司令 吳化文上將

谷大使上海へ

翼政會總務會

ラウレル長官 委員會に出席

人事

大東研究所編 報道 第一輯 出づ!! 第一輯 アッツ島血風錄 價廿五錢 發賣所 山海堂出版部

ナリス 粉白粉 日本人のお肌にピタリあふから自然についてモチがよい

お願ひです、時節柄節約して大切にお使ひ下さい パピリオ

臺灣總督府官報 一ヶ月四拾五錢 一册金九十錢 發賣所 臺灣日日新報社 島內各臺日取次店

胃腸を害せぬ 高單位AD剤 虚弱兒・体力・視力に 消化吸收頗る良好にして夏も續けて服用出來る エーデー 100錠 2圓30錢 水產化學製造

丈夫で暮すには 斷えずビタミンA・Dを補給して下さい これが健康の秘訣です 蛋白質やカロリーが不足すると空腹感を起しますが、ビタミンは不足しても空腹感は起りません。その代り元氣がなくなり、體力が弱り、勞れ易くなり、病氣に對する抵抗力が無くなります。特に子供は成長が止まりますから御注意下さい。常に丈夫で暮せるやう、油斷なく本劑でビタミンを補給して下さい。 毎日 子供に一球 大人に二球 糖衣理研ビタミン球 發賣元 株式會社 玉置商店

桔梗倶生れてまる二ツ
廿八日は結成記念日

雄々しい大和心と優しい乙女心を持て
齋藤さん倶樂部員に訓ず

身に陸軍魂を
桔梗倶の記念行事決る
廿四日から三日入隊

機關誌「桔梗」を發刊

豫期通り出揃ふ　海軍志願兵

支那事變記念式を擧行

大東亞建設の礎石
名譽の戰歿者六柱

九勇士に賞賜
物件を傳達

生死超越せば"平凡"
粗衣粗食を苦にせぬは皇軍の强味
諄々說く前線海鷲部隊長

增產へ、休閑地應召
僕らも稻刈り、籾運び

增產に挺身
けふから中等校生も出動

タイ國失地同復の歡び
積年の遺恨今ぞ晴る
歡喜に湧くバンコック市

祖國の歡喜彷彿
在臺泰青年　異鄕から喜びを語る

皇軍の力鬪に感謝
在北安南人から熱烈な獻金

こゝにも綻ぶ共榮の花

白衣勇士遺家族に"演藝慰問"
赤誠あふる大稻埕有力者

白衣の勇士へ
慰問客續く

一回に五百匁
氷配給に新方針

臺北州商工水產課第二係長に金子氏

次回朝刊小說豫告

椰子
海野十三作
村上松次郎畫

作者の言葉

臺灣日日新報社

高橋大將から講演を聽く
學徒南進研究會

國民學校職員地區體育大會

簡閱點呼の辨當代を獻金

國防獻金

褒賞金を

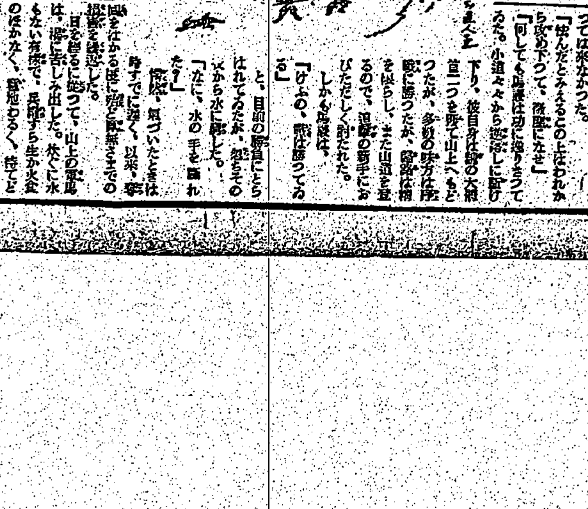
優良奉公班表彰式延期

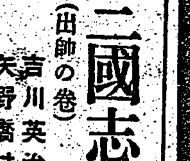
明朝の番組

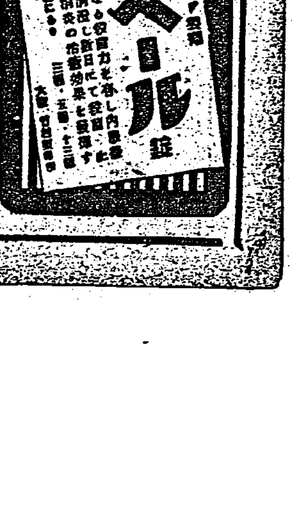
今夜の番組

後三國志
(143)
(出師の卷)
吉川英治作
矢野橋村畫

陣中に戲言なし(四)







肺患
患者必讀
早期に根本から治せ!